

女性がいつも生き生きと明るい存在であるために。

女性は家庭にあつては家族の健康に気を配り、精神的な支えになり、未来を担う子どもを育てるといった重要な立場にあります。また、社会の一員として、よりよい社会をつくるために大切な役割を果たしています。女性自身が健康で充実した生活を送ることができるかどうかは、家庭や社会が健全に営まれるか否かをも左右するでしょう。私たちは、いつも女性たちが生き生きと輝くことができる社会をめざしています。

女性のからだところの健康情報

女性のからだは生涯のうちに何度も変化します。しかし、情報が限られていたり相談しづらいために、ひとりで不安になることが少なくありません。

女性が自分の健康について正しい知識を持ち、適切な意思決定ができる環境が必要と考え、女性向けの健康情報を提供しています。

ウーマンズヘルスウェブ <http://jfpa.info/wh>

女性のからだやところの健康に関するインターネットのウェブサイトです。自分の健康に疑問や不安があるとき、信頼できる情報を得ることができます。

サイトの訪問者数は、スタート当初の約4倍に増加しました。



ガールズナビ <http://girlsnavi.jp>

10代から20代の女性向けに、性や健康への意識を高めることを目的とした携帯サイトです。

支援団体:社団法人日本家族計画協会
<http://www.jfpa.or.jp/>

声の花束 <http://www.koetaba.net>

視覚障害や活字メディアによる情報の入手が困難な女性のために、「ウーマンズヘルスウェブ」の情報を音声で発信するウェブサイトの運営を支援しています。

支援団体:社団法人日本フィランソロピー協会
<http://www.philanthropy.or.jp>

女性のための健康セミナー

女性関連施設で健康に関するセミナーを開催しています。セミナーの内容は小冊子にまとめ、より多くの女性に届くよう全国の女性関連施設に配布しています。

支援団体:財団法人主婦会館
<http://www.plaza-f.or.jp/>



HIV/AIDS 啓発活動

HIV/AIDSの広がりは今や全世界共通の問題になっており、日本も例外ではありません。

女性に深刻な影響を及ぼす性感染症防止への取り組みの中で、HIV/AIDS啓発活動を支援しています。

第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議
ユースフォーラム2005

アジア各国から参加した若者が、講演会やパネルディスカッションなどを通じて、HIV/AIDSの予防啓発、感染ケア、社会との関わりなどを考え、今後の活動の提案につなげました。

支援団体:第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議
ユースフォーラム実行委員会

<http://www.icaap7.jp/jpn>



若者向けフリーペーパー「RE:LIGHT」

「保健室でもカフェでも読める」をコンセプトに、若年層、特に高校生に向けてHIV/AIDSの正しい知識や予防法などを掲載した無料小冊子「RE:LIGHT」を制作し、学校やカフェなどで配布しました。

支援団体:早稲田大学公認
イベント企画サークルqoon
<http://www.qooner.net>

